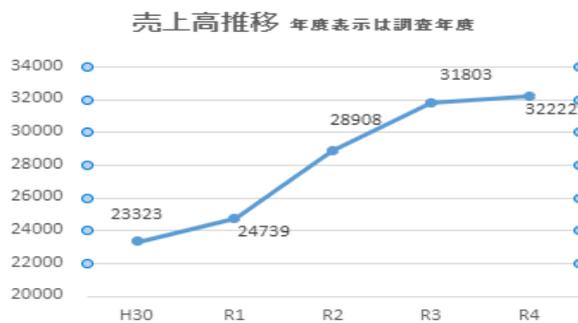


## ソフト系IT企業実態調査結果概要

1. 調査対象 協会会員社及びソフトビジネス研究会会員社等  
有効回答社 77社 (非ITを含めた全回答社80社)  
売上に関する有効回答社66社、経常利益に関する有効回答社62社

### 2. 主な調査結果 (以下数値はソフト系IT企業分)

#### (1) 売上高



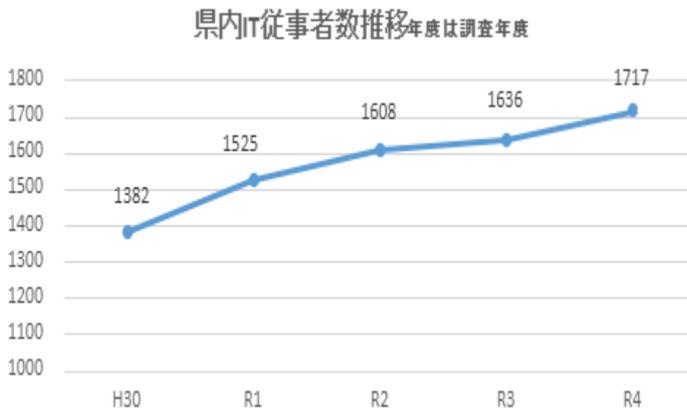
売上額は、前年比1%4億円増加の322億円の微増であったが、過去最高値を引き続き更新した。リモートワークやDX等ITに対する需要の存在や小学校におけるプログラミング教育開始に伴う需要が続いていると考えられる。前年比で増収となった企業が増え、半数にのぼることから、県内IT業界全体に好況がひろがっていることが窺える。

#### (2) 利益



利益は、1%3千万円の微増であったが、26億円と過去最高値を更新した。昨年度調査では、コロナ禍で固定費等の削減により、利益の大幅な上昇があったが、今年度調査では通常ベースの収支状況に戻りつつあると考えられる。

### (3) IT 従事者数



県内IT 事業従事者は、5%81人増の1,717人となった。慢性的な技術者不足であるIT業界で、過去80人前後の増加が続いていたことから、昨年度調査で見られたコロナ流行による業況悪化懸念による人材採用の手控えから一転、通常ベースの採用に戻ったといえる。

### (4) 人材不足感

調査に応じたIT企業が不足と感じる技術者は、システムエンジニア113人、プログラマー98人の計211人である。不足技術者数は、近年わずかではあるが低下傾向にある。不足感を持つ企業の割合を本社所在別でみると、全体は65%であるが、県内本社企業ではこの率が63%である一方、県外本社企業では68%であり、県外>県内の傾向が令和2年度調査以降の傾向となっている。また、規模別でみた場合、従事者30~100人規模の企業で不足感が強いことが特徴である。

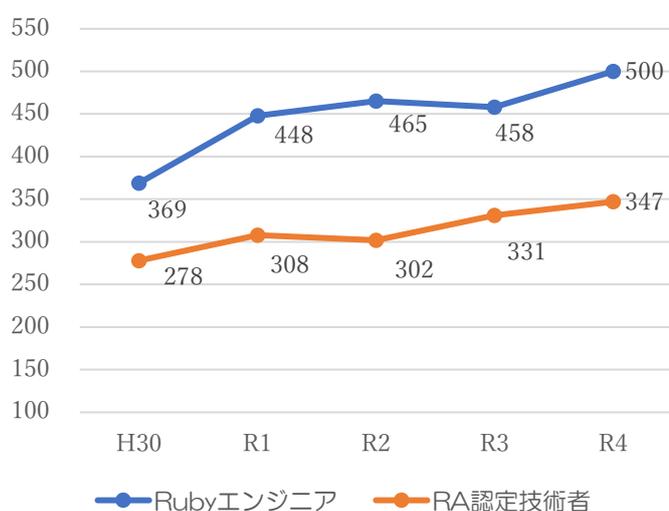


### (5) Ruby 関連

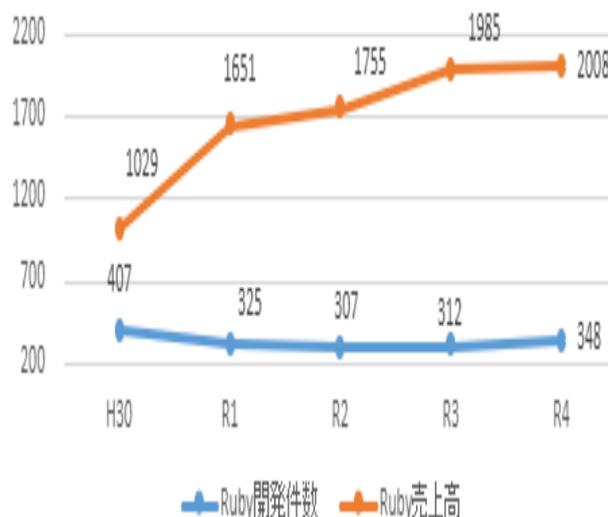
Ruby エンジニア数は500人で42人の増加となった。Ruby アソシエーション (RA) 認定技術者は、16人増加の347人である。

IT 企業における Ruby による開発売上は1%増加 20 億円である。近年の増加傾向が続いている。Ruby が占める割合をみた場合、売上高、システム開発件数でみると、売上割合では6%、開発件数割合は19%とほぼ前年度並みかやや低下した。

Rubyエンジニア・RA認定技術者数



Ruby開発件数・売上高



Rubyが占める割合

